

悠々私的

ヘアラルト阪神理容美容専門学校
(尼崎市)

理事長 半田まゆみさん

作品をありのままに感じる

現代美術の世界に足を踏み入れたのは、たまたまたった。24歳の時、ヘアメイクの参考にと訪れた作品展の指導者が、日本を代表する現代美術集団「具体美術協会」の創設メンバー、嶋本昭三氏。怪しげな風体の嶋本氏に最初は恐れをなしたが、誘われて西宮市内にあるアトリエを訪れるうちに現代美術に魅了された。

授業で忙しい身ながら、国内外の展覧会に足を運ぶ。自ら砂浜に埋まるパフォーマンスをしたこともあるが、今は嶋本氏の右腕として、良いパフォーマンスができるよう準備から当日の助手役まで気を配る。

ネーティブアメリカンの指導者、デニス・バンクス氏が、親友や家族にしか触らせない髪を触らせてくれたことに敬意を表し、自分の髪をさげ

て丸刈りにすると決めた時、賛成してくれたのも嶋本氏だった。

そのことで父親から勘当され、職場にもいられなくなつて、アトリエの上階に居候したこともある。

現代美術は難しいと思われがちだが、無理に意味を追究する必要はないとか。「作品の前に立って、ありのままを感じるのが一番」だという。

(塩津あかね)



現代美術家、嶋本昭三氏の作品の前に立つ半田さん―神戸市中央区山本通2、ギャラリー―島田(撮影・佐々木彰尚)

はんだ・まゆみ 関西学院大学法学部卒、1986年阪神理容美容専修学校(現在のヘアラルト阪神理容美容専門学校)入社。阪神・淡路大震災で前理事長の父を失い、95年理事長に就任。神戸芸術工科大学など4校でも講師を務める。西宮市在住。